

第2回

かながわトラスト緑地・ヤマユリ自生地再生チャレンジ始動

『かなユリ・チャレンジ』



▲トラスト緑地に咲くヤマユリ

会員の方から一通のお手紙をいただいたことから始まりました「かなユリ・チャレンジ」。

トラスト緑地でヤマユリの自生地を再生させるため、トラスト緑地からヤマユリの球根や種を採取して、栽培・育成した球根を緑地に戻し、自生地を回復させる事業で協力いただいている、平塚の社会福祉法人進和学園にお話を伺いました。

『かなユリ・チャレンジ』に参加して

株式会社研進（障害者就業支援団体）  
代表 出縄 貴史

2017年 秋、知的障害のある方達が集う社会福祉法人進和学園（平塚市）において、財団の助成を受け「ヤマユリ」の花を再生する取り組みを開始しました。

この「かなユリ・チャレンジ」は、一昨年「津久井やまゆり園」での痛ましい事件（相模原障害者施設殺傷事件）を受け、昔は各所に見られた神奈川県の花「ヤマユリ」を増やすことで、悲劇を悼み多くの人々の心の癒しとしたいとの願いを込めた取り組みです。私共も、遣り甲斐を感じながら「ヤマユリ」の栽培を請け負わせて頂いています。

弊社は、進和学園をはじめ福祉施設からなる「どんぐりブラザーズ」というチームを組み、どんぐりや木の実から苗木を育て自然の森を再生する「いのちの森づくり」を進めています。植樹用の苗木とは異なるノウハウや注意点も多く、不安と期待を抱きつつ、



▲発芽したヤマユリの苗木、5個の球根を植え4本が発芽20～60cmに生長（2018年4月18日）

まずは、自生種の球根5粒を譲り受け、イノシシの被害を受けない明るい日陰を探して福祉工場の中庭に植え付けました。

3月中旬、4株の発芽に気付いた時は、「ヤマユリの芽が出た！」と、一同大感激！その日の朝礼のメインテーマとなりました。

最初、雑草かと思いましたが、図鑑と照合すると細長くスマートな葉は「ヤマユリ」に間違いありません。早速、財団に報告すると担当の壹崎さんも駆け付けて下さり、写真を撮りながら今後の留意点についてアドバイスを頂きました。4月中旬現在、「ヤマユリ」は一番大きい苗で60cm近くに生長。

未だ、球根は小さく花は付かない可能性が高いようですが、あの華麗な花弁と芳醇な香りを想像しながら、栽培に精を出し、皆で楽しんで生長を見守りたいと思います。



▲発芽したヤマユリの苗木を囲んで（右端が出縄氏）